



「未来の自分に出会う夏」 高校生職場体験実習 ～学習の場としての当院の役割～

阿南医療センター 緩和ケア内科、病院長補佐(教育)、医療教育委員会、倫理委員会
寺嶋吉保

学習の場という視点で、当院の地域での役割を考えてみます。

令和8年1月末に、6年前に開院して初めての病院機能評価を受審するに当たり、当院の基本理念・基本方針を見直し改定しました。

基本理念 地域の医療を支え守り抜く

1. 常に学習し、高水準の医療の提供に努める。
2. 患者、家族に真摯に向き合い最善の医療を提供する。
3. 地域の医療機関と連携し、迅速な受け入れを行う。
4. 安全で思いやりのある職場環境を実現する。
5. 持続可能な運営を行う。

基本方針の第1項は「常に学習し高水準の医療の提供に努める」です。病院では、医学医療の進歩に応じて、学習教育研修という機能は非常に重要です。

新しい取り組みとして、8月19日(火)に高校一年生を対象とした職場体験学習「未来の自分に出会う夏」を開催しました。鶴羽佑樹さんのHP紹介記事を参照ください。(当院HP「スタッフブログ」2025/09/17)

体験を実施した職種は、医師・薬剤師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・診療放射線技師・臨床検査技師・臨床工学技士・栄養士・調理師・医療事務です。(以下、一部略)

初めに病院概要、ヘリポートで記念撮影して、

院内見学ツアー、事前に希望した複数の部署で体験・見学、当院の若手職員と意見交換して昼過ぎ解散終了。生徒さんから、「いろいろな職業を知り経験でき、とても楽しかった」「オペ室などの普段は見えない場所を見て面白かった」「自分の中での将来の選択肢が広がった」などの声あり、今後も、学生さんの将来の進路を広げられる機会を提供していきたいです。

HPでは、医師・薬剤師・診療放射線技師・臨床検査技師・リハビリ体験、看護師などの体験風景の写真が紹介されています。ぜひご覧ください。

地元の若い人材が、住み続け働く場所として、医療現場は多様な専門職を受け入れる大きな雇用の場です。具体的にイメージして進学の参考にしてもらうことは、この地域が活力を持って継続して行く上で非常に重要です。今後も多様な学習の場を提供して行きます。引き続きご支援頂ければ幸いです。

当院が提供する学習の機会

- ・院内(個人、部署単位、多職種間、職員全体)
- ・院外の医療介護の専門職と一緒に学ぶ(ケアカフェなど)
- ・医療系学生の臨床(臨地)実習、研修医など新人教育
- ・住民(市民公開講座など)
- ・小中高の生徒さん(職場体験など)



(撮影：多田悦尚)

世界糖尿病デーと全国糖尿病週間

阿南医療センター 内科 糖尿病ケアチーム 栗飯原 賢 一

11月14日は世界糖尿病デーとされ、糖尿病の予防や治療啓発のために様々なイベントが国内外を問わずに開催されています。

世界糖尿病デーは、糖尿病の予防や治療継続の重要性について多くの方々に周知する重要な機会となっています。また我が国では、毎年、11月14日を含む一週間（月～日）を「全国糖尿病週間」として、全国各地で一般向けの講演会や健康相談、街頭での広報活動などが実施されています。各都道府県糖尿病協会や友の会が主体となり、地域単位でこれらの啓発活動が行われています。

世界糖尿病デーのキャンペーンの象徴的なイベントの一環として、ブルーライトアップが各地で行われています。当院でも病院玄関に青色に光るLEDの照明を使用して、昨年に引き続き、ブルーライトアップを実施しました。このブルーライトアップは、世界糖尿病デーのキャンペーンに用いられている青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」が由来です。国連や広い空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインし、“Unite for Diabetes”（糖尿病との闘いのため団結せよ）というキャッチフレーズを表しています。

糖尿病予防や治療の啓発のテーマには、国際的なものから地域密着型のものまで様々な例がありますが、我が国の2025年の糖尿病週間のテーマは、「みんなで正しく理解しよう“ダイアベティス”」です。

糖尿病の病態解明や治療が進んでいる一方で、糖尿病は過去の負のイメージが社会に定着し、患者さんの不利益になっていることが重要な課題として残されています。治療法や薬剤の進歩により、糖尿病患者さんの生命予後も劇的に改善されている現在、病気への誤解や偏見である「スティグマ」は医学的、社会的にも解消されるべきだと考えられる様になって来ました。こうした課題に対応するために「糖尿」という言葉が病態を正確に表すものではなく、国際的にも通用しなくなっていることから呼称を「ダイアベティス」に変更することが近年提案されています。その様な中で、糖尿病の患者さんやそのご家族が、常に前向きな気持ちで、治療や日常生活を送れる様に、私達は様々な形でサポートして行こうと考えています。



阿南医療センターブルーライトアップ

大切な人と人生会議をしてみよう

内科 循環器内科 緩和ケア内科 谷 彰 浩

人生会議とは、「その人の人生観や価値観を共有する話し合いを何回も繰り返して行うこと」です。よくある間違いが「人生の最後にどんな治療を受けたいか、あらかじめ決めておくこと」です。そんなことはそもそも決められませんし、決めてもその時に気持ちや状況が変わっていたとすると、役に立ちません。娘に誕生日プレゼントは何が欲しい？と聞くと、1ヶ月前は「リトル・マーメイドのアリエルのお人形」と言っていたのですが、最近聞くと「ヘアメイクアーティスト コスメビューティー」に変わっていました。これは子供のプレゼントに限った話ではなく、大人の医療でも同じで、そのときの気分や状況で、どんな治療を受けたいかは変わります。プレゼントに何が欲しいかということよりも、化粧やおままごが好み、恐竜や車は好きではないという大体の好みがわかっているほうがいいです。

人生会議で尋ねる質問は4つです。①楽しみにしていること、②生きがい、③気がかりなこと、④こうなったら生きていたくないと思うこと。この情報があれば、状況に応じてその人にとって1番いい治療法を選択することができます。

僕の亡くなった祖父は、生前によく人生会議をしていました。つまり、家族が集まったときに自分の人生観や価値観を家族に共有していました。楽しみなことは、勉強です。元教師で、学ぶのが好きで、本をよく読んでいました。数学の問題や俳句を持ち歩いて、病院の待合室で問題を解いたりしていました。生きがいは、一家と自分が関わった人の幸せです。ご先祖や子孫はもちろんですが、教え子の息子の進路まで気にかけていました。気がかりなことは、自宅でいたい、できるだけ入院したくないということでした。死ぬのは怖くなくて、死んでも自分の半分は子供たちの中で生きていますと言っていました。こうなったら生きていたくないと思うことは、延命治療や苦しみが続くことでした。祖父は80代で肺がんがみつかりました。治療は手術か放射線治療ですが、高齢で肺も悪いため、治療に悩みました。しかし、祖父が繰り返し人生会議をしていたおかげで、祖父にとって1番いい治療を選択することができました。症状緩和をしつつ、できるだけ在宅で過ごし、がん治療や身体への負担が大きい治療はしないことにしました。その2年後に息の苦しさが強くなってきて、家で過ごすことに限界を迎え、入院する日の朝に自宅で息を引き取りました。「息を引き取る」という言葉には二重の意味があります。祖父は最後の息を虚空に吐き、もう吸いません。死を見守っていた人たちが代わりに吐かれた空気を自分たちの胸に吸います。「息」は引き継がれていきます。息を引き取るのは、死者であり同時に死を見守った人たちです。祖父は自分の半分ではなく、すべてを残していきました。祖父も家族も、価値観に沿った選択ができたことに後悔はありません。

ぜひあなたの大切な人と人生会議をしてみてください。4つの質問を使って自分のことを伝えてもいいですし、相手のことを知ってもいいです。大切な人やかかりつけの病院スタッフと価値観を共有しておくことが、大切な人へのプレゼントとなります。

阿南医療センター 外来医師診療表

令和7年12月現在

		受付時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内 科	午前	8:30～11:30	佐藤 寛子 (糖尿病・総合)	宮田 好裕 (消化器・総合)	中尾遼平(徳島大学) (脳神経内科)	松岡 賢市 (血液) 第1週	添木 武 (循環器)
			岡本 恵暢 (血液・総合)	滝下 誠 (消化器・総合)	小崎 裕司 (循環器・総合)	岡本 恵暢 (血液・総合)	荻野広和(徳島大学) (呼吸器)
			滝下 誠 (消化器・総合)	伏屋 芳紀 (呼吸器)	中村 信元 (血液) 午前のみ	堀 明日香 (消化器・総合)	佐藤 寛子 (糖尿病・総合)
			中村 信元 (血液) 午後のみ	谷 彰浩 (循環器・総合)	板垣 達三 (消化器・総合)	谷 彰浩 (循環器・総合)	小崎 裕司 (循環器・総合)
			小崎 裕司 (循環器・総合)	坂尾 祐佳子 (糖尿病・総合)	栗飯原 賢一 (糖尿病・内分泌)	宮田 好裕 (消化器・総合)	板垣 達三 (消化器・総合)
			浅井 孝仁 (糖尿病・内分泌)	佐藤 康史 (消化器内科) 第2・第4週		坂尾 祐佳子 (糖尿病・総合)	栗飯原 賢一 (糖尿病・内分泌)
						栗飯原 賢一 (糖尿病・内分泌) (肥満初診外来) 第1週午後	
リウマチ科	午前	8:30～11:30	答島 章公	答島 章公 (予約のみ)	答島 章公	答島 章公	答島 章公 (予約のみ)
	午後		答島 章公 (予約のみ)		答島 章公 (予約のみ)	答島 章公 (予約のみ)	
小 児 科	午前	8:30～11:30	吉本 勉 佐藤 宏紀	吉本 勉 上田 隆	上田 隆 佐藤 宏紀	吉本 勉 上田 隆	吉本 勉 佐藤 宏紀
		13:00～15:00	BCG(毎週)	予防接種	予防接種	乳児検診	予防接種
	午後	15:00～16:00	吉本 勉 上田 隆	吉本 勉 上田 隆	吉本 勉 佐藤 宏紀	吉本 勉 上田 隆	吉本 勉 佐藤 宏紀
			※第1・第3水曜日午前中 アレルギー外来(予約制)				
外 科	午前	8:30～11:30	田上 誉史 正宗 克浩 浅野間 理仁	正宗 克浩 浅野間 理仁	田上 誉史	正宗 克浩	浅野間 理仁
	午後		手術	手術	手術	手術	手術 (心臓血管外科) 大学非常勤(予約のみ)
乳 腺 外 科	午前	8:30～11:30	駒木 幹正 (予約のみ)	駒木 幹正 (予約のみ)	駒木 幹正 (予約のみ)	駒木 幹正 (予約のみ)	
整 形 外 科	午前	8:30～11:30	前田 徹 (脊椎)	米津 浩 (関節外科)	吉田 直之 (関節外科・外傷)	景山 寛志 (脊椎)	鹿島 正弘 (一般・骨粗鬆症)
			下村 聖一郎 (一般)	吉田 直之 (関節外科・外傷)	鹿島 正弘 (一般・骨粗鬆症)	吉田 直之 (関節外科・外傷)	米津 浩 (関節外科)
			鹿島 正弘 (一般・骨粗鬆症)	乳児検診 ※不定期	米津 浩 (関節外科)	前田 徹 (脊椎)	中井 大輔 (肩・肘関節)
			川口 真司 (一般・肩関節)			下村 聖一郎 (一般)	川口 真司 (一般・肩関節)
	午後		手術	手術	手術	森本雅俊(徳島大学) (脊椎) 第1週: 予約のみ 手術	手術
脳神経外科	午前	8:30～11:30	倉敷 佳孝 大学非常勤	倉敷 佳孝 大学非常勤 (頭痛外来) 第2・4週	倉敷 佳孝 大学非常勤 (頭痛外来) 第2・4週	倉敷 佳孝	倉敷 佳孝
			脳ドック		脳ドック		
皮 膚 科	午前	8:30～11:30	赤澤 啓人	赤澤 啓人	赤澤 啓人	大学非常勤	赤澤 啓人
形 成 外 科	午後	13:00～14:00			大学非常勤 (受付14時まで)		
泌 尿 器 科	午前	8:30～11:30	井上 善雄	下地 覚	田上 隆一	井上 善雄	田上 隆一
	午後		手術	手術	手術	手術	手術
眼 科	午前	8:30～11:30	手術 (予約のみ)	内藤 毅 赤岩 慶 (予約のみ)	手術 (予約のみ)	内藤 毅 赤岩 慶 (予約のみ)	赤岩 慶 (予約のみ)
耳 鼻 咽 喉 科	午前	8:30～11:30	戸田 直紀 千田いづみ (小児言語聴覚 新患) 予約のみ	千田いづみ	戸田 直紀	千田いづみ 武田 憲昭 (めまい・難聴) ※9:30～	戸田 直紀
	午後		千田いづみ (小児言語聴覚) 予約のみ	睡眠時無呼吸 (第1・3週予約のみ) 手術	補聴器 (予約のみ)	戸田 直紀 (顔面神経) 第1・3週予約のみ	手術
産 婦 人 科	午前	8:30～11:30	産科 和泉 佳彦 婦人科 炬口 恵理	産科 牛越賢治郎 婦人科 山崎 幹雄	産科 和泉 佳彦 婦人科 炬口 恵理	産科 山崎 幹雄 婦人科 牛越賢治郎	産科 炬口 恵理 婦人科 山崎 幹雄
	午後	11:40～15:00 (診療開始14:00)	炬口 恵理	手術	和泉 佳彦	山崎 幹雄	手術
緩和ケア内科	午前		寺嶋 吉保 (予約のみ)			寺嶋 吉保 (予約のみ)	寺嶋 吉保 (予約のみ)

★ 再来受付機による受付時間

午前診察受付 午前7時30分～午前11時30分
(受付機で受付できない場合は受付カウンターにお申し出ください。)